



優勝した仁井田米コメッツ。選手宣誓を行った辻主将(前列右2人目)

「四万十町子ども会ソフトボール大会」開催

令和6年度「四万十町子ども会ソフトボール大会」が、6月16日に窪川運動場多目的広場で開催されました。今回の大会には、町内外から6チームが参加し、大会当日は晴天で、非常に暑い中でも一生懸命に汗を流し、全てのチームが元気なプレーを見せてくれました。

また、町内のチームが見事優勝し、盛り上がりのあった大会となりました。大会結果は以下のとおりです。

優勝 仁井田米コメッツ **準優勝** 東津野スポーツ少年団
第3位 精華ファイターズ、大月ソフトボール子ども会



見事優勝したチームドラゴンの皆さん

「四万十町ソフトバレーボール大会」開催

「第19回四万十町ソフトバレーボール大会」が6月1日、四万十町窪川B&G海洋センターで開催されました。

今大会には5チーム20名が参加し、普段はバレーボールで活躍しているチームの皆さんですが、今回はソフトバレーボールでも、和気あいあいとした雰囲気の中で、熱戦を繰り広げていました。

第1位 ドラゴン **第4位** おおのみ
第2位 スヌーピー **第5位** 科学のサイエンス
第3位 テンポラリー



みんなで盛り上がった真剣勝負のドッジボール

「移住者交流運動会」で親睦を深める

移住して間もない方のコミュニティ作りをサポートしようと6月9日、四万十町窪川B&G海洋センターで「移住者交流運動会」を開催しました。集まった参加者は、四万十クイズやイス取りゲーム、ドッジボールなどの競技で、体を動かしながら楽しく交流を深めていました。また、お昼休みにはお弁当を食べながら会話が弾み、移住者と地域の方との親睦が、より一層深まる場面も。

これまでも、味噌作り体験やバーベキューなどのイベントを開催してきましたが、今後も移住者の皆さまが、町内で楽しく暮らすことができるよう、工夫を凝らした取り組みを実施していきます。

四万十町を花とみどりのまちに

花をテーマとしたまちづくりの一環として、役場本庁舎の周辺に花のプランターを設置しました。この取り組みは、昨年から実施しているもので、今回設置した約110個のプランターには、マリーゴールドやペンタスなど、夏の花がメインに植えられています。

プランターの管理は、町職員が交代で行っており、厳しい暑さの中、水やりや花がら摘みなどの花のお世話をしています。

夏の暑さにも負けない色とりどりの花を、地域の皆さまにも楽しんでいただきたいと思います。次回は、11月頃に冬の花に植え替える予定となっています。



本庁西庁舎前に並んだ色とりどりの花のプランター



短期間の練習でも、存分に「四万十消防団魂」を披露した松葉川分団

松葉川分団が「高知県消防操法大会」出場

「令和6年度高知県消防操法大会」が、6月30日に高知県消防学校で開催され、四万十消防団からは、松葉川分団が自動車ポンプ操法の部に出場しました。これは、昨年6月に開催された「四万十消防団演習大会」において、自動車ポンプ操法の部で、松葉川分団が見事優勝を果たし、今回の出場権を得たものです。

大会は、県内の各地区予選大会を勝ち抜いた精鋭10チームで行われ、当日は小雨も降る中、松葉川分団は日頃の訓練で培った技術を披露。惜しくも全国大会への切符はつかめませんでしたが、これからも災害から地域を守るため、さらなる活躍が期待されます。



多くの来場者で盛大に開幕した金太郎夜市！

夏の風物詩「金太郎夜市」が開幕

高知県内の夜市の中で、最も歴史が長いとされる「金太郎夜市」が、今年も開幕しました。この夜市は、窪川地区の中心市街地の活性化とにぎわいづくりのために、四万十町商工会青年部が主体となって、毎年開催しているものです。今年も、毎週金曜日に全3回の予定でイベントが企画されました。初回となった7月12日は、オープニングセレモニーとして窪川中学校の吹奏楽部が生演奏を披露。続いて、盛大に餅まきが行われ、多くの来場者が金太郎夜市の開幕を祝いました。また、翌週の19日には、町内の小学生たちによる「子供夜市」が元気に開催されました。



小あじが大量に釣れる中、こんな大物もヒット！

興津海水浴場海開き～「親子釣り大会」～

興津海水浴場の海開きが、県内で最も早い6月29日に行われました。当日は、雲の多い天候でしたが、県内外から訪れた方が、早速、少し冷たい海に入って楽しんでいました。

海水浴場を管理する地元住民や関係者約30名が参加した神事では、海水浴期間中の安全を祈願しました。また、海開きに併せて開催された「マリンフェスタ興津2024親子釣り大会」では、町内外から応募があった36名の参加者が、美しい興津の海でのサビキ釣りを楽しみました。前日の大波が影響してか、幸運にも小あじが大漁で、参加者や地元の皆さんも驚きだったようです。



感謝祭のラストを盛り上げた恒例の餅まき

「道の駅四万十とおわ感謝祭」大盛況

今年、開業から17周年を迎えた道の駅四万十とおわ。また併設する四万十川ジップラインも、開業から4周年を迎えました。

道の駅四万十とおわでは、6月22日から7月7日までの期間を、日頃の感謝を込めた「ジップ&道の駅ウィーク」と題し、各施設ではお得な企画や限定メニューが販売されました。

最終日の7月7日には、「感謝祭」が開催され、地元の生産者や町内外の道の駅5駅が集結して、特産品やご当地グルメなどの実演販売が行われました。また、恒例の餅まきでは餅やお菓子などが振舞われ、会場を訪れた多くの方で、大いににぎわいました。